

新基地建設反対名護共同センターニュース

政権交代で新基地ストップを！

不屈の座り込みが菅政権を追い詰める

11月12日(木)は約100人の県民がキャンプシュワブ前に集合し座り込み抗議を続けました。デニー県政を支える与党の仲村未央氏(沖縄・平和)、瀬長美佐雄氏(共産)など5人の県議も参加し、密を避けるために反対側の道路から激励と連帯の挨拶をしました(写真)。

昨年の県民投票の結果や一連の沖縄県の国政選挙結果で示したように圧倒的多数の県民が新基地建設反対の意思を表明しています。しかし、菅政権は強権力をバックに新基地建設を強行しています。コロナ禍のため、もつと多くの県民が現場に来て抗議をしたいと思っても思うようにいかない状態が続いています。しかし、県民は決して悲観していません。現場では、軟弱地盤問題などもあり必ず基地建設をストップさせることができるという強い決意で日々たたかっています。感染症対策を取りつつ、粘り強く現場で座り込みを続けることが権力を追い詰めています。

「オール沖縄」から「オール日本」へ全国との連帯を広げ、次の総選挙で市民と野党との共闘を発展させ、政権交代を勝ち取ることができます。ワクワクするような情勢の下でたまたかいは続きます。



新基地阻止へ知事を支えよう！

サンゴ採捕「関与取り消し訴訟」支援集会

大浦湾のサンゴ移植をめぐる、防衛局の特別採捕を許可するよう求めた農水省の是正指示は違法だとして県が指示取り消しを求めた訴訟の初の口頭弁論が開かれます。「辺野古新基地は造らせない」という公約実現へ向けて、不退転の構えで裁判所に向かうデニー知事を支援する集会を開きます。多数のご参加を！

日時/11月20日(金) 13:20~14:00

場所/城岳公園(那覇高校前)

主催/オール沖縄会議

挨拶/主催者・弁護団長・デニー知事・他



シュワブ内11人感染で緊急対策求める 名護市平和委員会が名護市に

キャンプ・シュワブ内で10月30日、11人の新型コロナウイルス感染者が確認されたことを受け、名護市平和委員会の福地信昭会長らは13日、名護市役所の祖慶実季総務部長らと面会、市として感染緊急防止対策をとることを要請しました。

要請書では、シュワブ内従業員や出入り業者や市民無料でPCR検査を行うこと、感染者の感染経路などの情報公開することなどを求めました。



市当局に要請する福地会長(右から2人目)と吉居俊平名護市議(同4人目)ら

美謝川のボーリング調査は条例違反

辺野古有志の会などが防衛局に

新基地建設問題を考える辺野古有志の会とティダの会(大城重吉共同代表)は13日、防衛局を訪問しキャンプ・シュワブ内の辺野古ダムから大浦湾に流れる美謝川の水路を変更するため防衛局がボーリング調査したことは名護市条例に違反するとして説明を求めました。防衛局側は根拠も示さず「ボーリング調査は適切に行っている」などと答弁しました。



防衛局の担当者に要請書を手渡す大城代表(中央)